

(資料提供)

平成30年7月19日(木)
県民文化スポーツ部文化振興課
直通：076-225-1371
内線：3838
石川県輪島漆芸美術館
直通：0768-22-9788

東京国立近代美術館工芸館移転連携事業「近代工芸のススメ」開会式について

東京国立近代美術館工芸館移転連携事業「近代工芸のススメ」の開会式を下記の通り開催しますので、ご案内します。

記

1 日 時

平成30年7月21日(土) 9:00～(30分程度)

2 場 所

石川県輪島漆芸美術館 1階 エントランスホール
(輪島市水守町四十苅11番地)

3 内 容

- (1) 挨拶 公益財団法人輪島漆芸美術館理事長 梶 文秋
(代理 公益財団法人輪島漆芸美術館常務理事 宮坂雅之)
東京国立近代美術館長 神代 浩
石川県県民文化スポーツ部長 表 正人
- (2) 来賓祝辞
- (3) 来賓紹介
- (4) 祝電披露
- (5) テープカット

4 その他

- (1) 開会式終了後、東京国立近代美術館工芸課長の唐澤昌宏氏によるオープニング・ギャラリートークを行います。
- (2) 7月22日(日)には、唐澤昌宏氏による講演会を開催します。
- ※詳細は、添付チラシをご参照下さい。

東京国立近代美術館工芸館移転連携事業

近代工芸 のススメ

2018年

7月21日(土)～9月3日(月) *会期中無休

開館時間 午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

入館料 一般620(510)円、高大学生310(210)円

小中学生150(100)円 * () 内は20名以上の団体料金

主催 輪島市・東京国立近代美術館

共催 石川県

後援 文化庁・NHK金沢放送局・テレビ金沢・北國新聞社



見ることから
はじめよう
工芸新発見!



上から
石黒宗庵《白地黒絵魚文扁壺》1940-41年頃
鹿兒島寿蔵《紙塑人形 さめのちがみのおとめ》1960年
松田権六《長生の器》1940年
全て東京国立近代美術館蔵

会場 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063

石川県輪島市水守町四十苅11番地

TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789

<http://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

- オープニング・ギャラリートーク
日時：7月21日(土) 午前9時30分～
講師：唐澤昌宏氏
(東京国立近代美術館 工芸課長)
会場：当館展示室 *要入館券
 - 講演会
日時：7月22日(日) 午後1時30分～午後3時
講師：唐澤昌宏氏
(東京国立近代美術館 工芸課長)
会場：当館講義室 *受講無料・予約不要
 - 石川県輪島漆芸美術館文化講座
第1回漆文化セミナー
日時：8月19日(日) 午後1時30分～午後3時
講師：谷口 出氏
(石川県立美術館 学芸主幹兼課長)
会場：当館講義室 *受講無料・予約不要
 - ワークショップ 沈金箸色付体験(1膳 800円)
日時：7月28日(土) 午後1時～午後4時
29日(日) 午前10時～午後1時
8月18日(土) 午後1時～午後4時
19日(日) 午前10時～午後1時
 - 職人による沈金・蒔絵の実演
日時：8月 2日(木) 午前9時～午後5時
- 各イベントの詳細は当館HPでご確認ください。



WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART
石川県輪島漆芸美術館

近代工芸 のススメ



1



2



3



4



5



6

1. 岩田藤七《鉢》1937年 2. 芹沢銈介《軸地型絵染二曲屏風 四季》1960年 3. 藤井達吉《草花図屏風》1916-20年頃
4. 山崎覚太郎《喫煙具》1935年頃 5. 前大峰《沈金芒絵箱》1959年 6. 佐々木象堂《蠟型鑄銅置物 瑞鳥》1958年
全て東京国立近代美術館蔵

東京国立近代美術館工芸館の石川県金沢市への移転に先立ち、近・現代の優れた工芸作品をより多くの方々にご覧いただきます。明治期から現代まで、漆芸を中心に陶磁、金工、木工、人形、ガラス、染織の多彩な作品を一堂に展示紹介する第一部、石川県にゆかりの漆芸作家を、当館の所蔵品も交えてご紹介する第二部の二部構成です。技法とともにわかりやすく解説することによって、幅広い世代に対し、工芸の楽しみ方をご提案します。

関連イベント

オープニング・ギャラリートーク

7月21日(土) 午前9時30分～
講師：唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館 工芸課長)
会場：当館展示室 *要入館券

講演会

7月22日(日) 午後1時30分～午後3時
講師：唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館 工芸課長)
会場：当館講義室 *受講無料・予約不要

石川県輪島漆芸美術館文化講座 第1回漆文化セミナー

8月19日(日)
午後1時30分～午後3時
講師：谷口 出氏
(石川県立美術館 学芸主幹兼課長)
会場：当館講義室
*受講無料・予約不要

ワークショップ 沈金箸色付体験

7月28日(土) 午後1時～午後4時
29日(日) 午前10時～午後1時
8月18日(土) 午後1時～午後4時
19日(日) 午前10時～午後1時
体験料：1膳 800円

職人による沈金・蒔絵の実演
8月2日(木) 午前9時～午後5時



WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十荊11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
URL <http://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

■交通案内 飛行機：羽田空港→約60分→のと里山空港→車→約20分→漆芸美術館

車：金沢市内→のと里山海道利用→約100分→漆芸美術館
(自家用車・大型バス駐車場有(無料))

バス：金沢駅→北鉄奥能登バス輪島特急→約120分→道の駅・輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」下車
乗換え→のらんげバス 海コース→約10分→「漆芸美術館」下車

徒歩：道の駅・輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」→約15分→漆芸美術館

次回展覧会案内

9月8日(土)～11月5日(月)

没後1周年追悼展

「文化功労者 三谷吾一の世界-時代を画す沈金加飾の探究者-」

本券1枚につき8名様まで
団体料金で入館できます。
割引券

講演会「日本の工芸の現在(いま)を考える」

2020年に石川県へ移転してくる東京国立近代美術館工芸館より、工芸課長である唐澤昌宏氏をお招きし、開催中の展覧会に関連するお話などを伺います。

日時

平成30年7月22日(日) 13:30~15:00

会場

石川県輪島漆芸美術館 講義室
(輪島市水守町四十苅11番地)

講師

唐澤 昌宏 氏 (東京国立近代美術館 工芸課長)



1964年 愛知県名古屋市生まれ。
愛知県立芸術大学大学院美術研究科修了。
愛知県陶磁資料館学芸員を経て、
2003年に東京国立近代美術館主任研究員、
2010年より現職。
専門分野は、近・現代工芸史。

<主な企画・監修>

「人間国宝の日常のうつわ—もう一つの富本憲吉」

「現代工芸への視点—茶事をめぐって」

「工芸からKÔGEIへ」など

定員

70名 聴講無料・予約不要

講演会参加者は、
「近代工芸のススメ」を
無料でご観覧いただけます！